

中学部 まとめ

8/25	<p>情報共有（グループ協議） 「単元目標の設定に向けて」 生徒の実態について、学びの履歴、自立活動の流れ図を基に把握し、学習指導要領で内容のまとまりを確認しながら、目標の検討、設定を行った。</p>
9/11	<p>情報共有（グループ協議） 「本時の個別目標と単元にかかわる生徒の実態について」 「学習活動の評価の観点を整理する」 ○評価の観点について、具体的な生徒の姿をイメージし、誰でも同じ基準で評価できるようにしていく必要があった。</p>
9/25	<p>事前研究会 「各教科で学習をすると困ることについて～なぜ合わせた指導を行うのか～」 <話し合いで挙げられた内容> ・個別の特性への配慮が難しい、抽象的な学習が難しい。 ・学習評価が難しい。 ・学習同士の系統、つながりが難しい。 ・教科横断的な学習が難しい。 ・学習が断片的だ。 ・繰り返すことで身に付くことが多い。 ・ねらいにずれが出てしまい難しい。 ・活動のねらいを定め、子どもの実態に沿って進めていくのが良い。（生単のよさ） ・修学旅行の学習として、社会科として取り組むのは無理がある。</p> <p>情報共有（グループ協議） 「本時の目標を達成する生徒の具体的な姿」 「目標達成するための支援について」 ○目標を達成している生徒の具体的な姿をイメージして、目標を達成するために必要な支援は何かを話し合いを行った。</p>
10/3	<p>授業研究会 重複障がい学級・訪問教育 生活単元学習「修学旅行に行こう」 事後研究会 ○県教育センター指導主事との事前の打ち合わせから ・事後研の進め方について（鑑水指導主事からの提案） ※「目標に迫っていたと思う子供の姿」、参観しての「気づき」 「参考になったこと」「学んだこと」などを話し合う時間にしてはどうか。 →提案を受けて視点を2つに絞り、参観シートを作成した。 ①「目標を達成できていたか。その根拠となる子供の姿。目標を達成していなくても、近づいていたか、そう思う子供の姿。 ②参考になったこと、いいなと思ったことを踏まえて、自分が授業者であれば、やってみたいこと、次にする単元の授業づくりの中で取り入れたいこと、チャレンジしたいこと。</p> <p>(1)「短く、ポジティブに」を合言葉に、ブレインストーミングで意見交換を行った。 視点1「目標を達成できていたか」 →「あ、さて」のタイミングがばっちりだった。目標達成できていた。 視点2「参考になったこと、いいなと思った」 →教師の自己開示ができています。音声言語以外の準備が素晴らしい。 教材教具が多くて生徒も楽しそうに学習していた。</p> 

	<p>(2)「なぜ教科を合わせるのか」 →教科でしか身に付かないことは何か。 ・生単での教科の取り扱い、各教科を効果的に学ぶために行う。 学習を始める前に、取り扱う教科やねらいについて伝えると良い(合意形成)。この時間のゴール、できるようにになりたいことを伝える。振り返りでは、「楽しかった?」ではなく、ゴール(目標)をどれくらい達成できたかを自己評価させると良い。→自己効力感の向上になる。 →50分でいくつの目標をねらえるのか。 ・各教科の目標となると、最低2個になる。場合によって、各教科で行うこともある。</p> <p>(4)「ASDの確認」 ・エピソード記憶は共有しにくい(静止画の世界)。 肯定文で伝えると良い。「走らないで」は走るイメージが強くなる。 ねじれの言葉・・・音声と気持ちが伴わないことがある。 「わからない」→「先生助けて」などがある。 ことばを蓄えて、感情の爆発を減らしていく。本人と他者、本人と物などの2項関係から本人と他者の間に物を介した3項関係へしていく。(不安の共有)</p> <p>(5)「LDへの対応」 ・眼鏡を使うように、タブレット端末を使うと良い。(音声入力など)</p> <p>(6)その他 ・学び方も働き方の転換ということで、「子供も教師も【わくわく】する授業」を大事にしている。</p>
10/22	<p>10/3の事後研究会を受けて、 「今年度の生活単元学習で取り組んでいる内容の整理」 【視点】 ・配列のバランス、教科の偏りはどうか。 ・教科等を合わせて行うのが有効か。 ・各教科で取り組む学習内容との関連、重複はないか。 (教科として学習した方がよいところはないか、など) ・R8年度に向けた改善点について</p> <p>【話し合いの結果】 ・道徳は合わせて学ぶのが有効ではないか。 ・社会と美術が多い。(重複) ・美術(体験的な活動)がベースになっている。 ・1学期の社会が少ない。(重複) ・事業所見学や陶芸教室の目標について、総合の指導要領のどの部分からきているのか、再度確認すると良い。 ・2学期以降の理科が少ない。 ・生活科の内容も含んでいる。</p>
11/6	<p>Co-MaMeの使い方(講義・演習) ※3～4人のグループに分けて演習を実施。 アセスメントシート→支援のイメージ図→整理シートの作成。</p>
11/20	<p>Co-MaMeの使い方(演習) ※3～4人ぐらいのグループに分けて演習を実施。 生徒A、B、C、Dについて、前回(11/6)の資料を使った指導・支援の共通理解について</p>
1/8	<p>中学部のまとめ</p>